



南海「和歌山大学前」駅から和歌山バスで約4分
南海「和歌山市」駅から和歌山バスで約20分
JR「和歌山」駅から和歌山バスで約30分

会 場：和歌山大学 西4号館（観光学部）T101教室
〒640-8510 和歌山市栄谷930

キャンパスマップはこちら→



定 員：社会人 80名、 観光学部学生 40名
講習料：無料

※4回以上の講座に出席いただいた方には、修了証書を交付いたします。



申込み・問合せ先：和歌山大学 観光学部 観光実践教育サポートオフィス
(電話) 073-457-8581/8553 (FAX) 073-457-8553
(E-mail) t-renkei@center.wakayama-u.ac.jp
(HP) <http://www.wakayama-u.ac.jp/tourism/>



2018年度 観光カリスマ講座



■主催
国立大学法人
和歌山大学観光学部
和歌山県

■後援
公益社団法人和歌山県観光連盟



2018年度

観光カリスマ講座

本講座は、各方面で活躍する「観光カリスマ」や成功モデルと評価されている観光地・観光ビジネスのキーパーソンを招聘します。観光カリスマのユニークな着眼点やリーダーシップを発揮しての事業の推進、異業種を巻き込んでのコンセンサスの形成方法等の実践事例を拝聴するなかで、和歌山県を始めとする地域の観光振興とまちづくり再生の方向性を探ります。

会場／和歌山大学 西4号館（観光学部）T101教室 受付開始／17:30～

第1回 観光の現状とDMOを中心とした観光地域づくりの取り組み

10月25日(木) 18:00～19:30

観光庁 観光地域振興部 観光地域振興課長 はたけなか ひでと
畠中 秀人

昨年（2017年）の訪日外国人旅行者数は2,800万人を超え、「明日の日本を支える観光ビジョン」において定めた2020年に4,000万人という目標も視野に入ってきています。これから更に質の高い観光立国を目指していくには、地域における経済活性化や雇用の創出等、活気ある地域社会の実現が必要不可欠です。

本講座においては、観光の現状とDMOを中心とした観光地域づくりの取り組みについて、地域における事例も織り交ぜながら紹介します。

第2回 映画による新しい観光資源の発掘

11月8日(木) 18:00～19:30

株式会社STELLA WORKS COO 映画プロデューサー まえだ かすとし
前田 和紀

映画は世界共通言語だと考えています。映画がきっかけで海外の方とコミュニケーションが生まれたりします。映画のストーリーはさることながら、その作品の中の、生活スタイルや文化、ロケーションのことが話題になることがあります。そしてその映画の舞台に行ってみたいというふうになっていくことがあります。古くは「ローマの休日」から映画は観光と非常につながりの深いものであります。そして発信力もあります。国内外を問わず、発信していけるものです。映画というツールを使って、新しい観光資源となりうるものを探っていく話を体験を交えてお話しさせていただきたいと思います。

第3回 街おこしイベント成功の秘訣 ～具体的事例とヒント満載～

11月29日(木) 18:00～19:30

株式会社のだみ 代表取締役 ふじた たかひろ
藤田 功博

地方創生、地域活性化の名のもとに、近年では様々なイベントが開催されるようになりました。観光イベントは、長く続けるためのポイントがあります。

立ち上げから2年目で、のべ3万人を動員し、京都最大級、全国有数の規模となった日本酒イベント「SAKE Spring」や、ユニークな会場を使うことで話題の「太秦江戸酒場」などの事例をもとに、「イベント集客の重要ポイント」「SNSを活用したプロモーションのコツ」「イベントを長く続けるために大切なこと」などについて、具体的な方法をお伝えします。観光イベントを立ち上げてみたい方、企画途中で悩んでおられる方などを対象に、実践型の内容とします。

第4回 大阪ミナミのまちづくりについて

12月13日(木) 18:00～19:30

南海電気鉄道株式会社 営業推進室 わだ しんじ
なんば・まち創造部 部長 **和田 真治**

大阪ミナミには、関西国際空港から大変多くのインバウンドの方が訪れています。なんば駅に隣接するビル「なんばスカイオ」が間もなく開業するほか、来年度には、新歌舞伎座や精華小学校の跡地にホテル・商業施設が開業、さらには、2020年度には道頓堀からなんば駅前までの道路が再編され、歩道の拡幅や駅前広場に整備される予定です。また、新今宮駅前には星野リゾートが進出。なにわ筋の計画も進めています。

こうした環境の変化の中で、南海電気鉄道のなんばのまちづくりについて、ご紹介するとともに、皆様と今後のまちづくりについて、一緒に考えたいと思います。

第5回 地方自治体によるインバウンド誘致と広域連携

1月10日(木) 18:00～19:30

高山市 海外戦略部 海外戦略課 主査 もり ゆうき
森 由貴

2010年代に入り、インバウンド（訪日外国人旅行者）数が急速に伸長する中で、こうした旅行者の誘致が地方における観光振興の課題となっています。しかし、東京と大阪を結びわゆる「ゴールデンルート」以外の市町村にとって、国外で認知度を上げ、旅行者を呼び込むことは容易ではありません。

本講義では、1980年代から官民連携でインバウンド誘致を進めてきた高山市の経験と、ユダヤ系民族旅行者に焦点を当てた岐阜県、福井県、石川県、愛知県にまたがる市町村の広域連携事業の事例を紹介し、地方におけるインバウンド誘致および観光振興のあり方を皆さんと一緒に考えていきます。